

第2次札幌市火葬場・墓地に関する運営計画
【パブリックコメント意見集】

令和8年（2026年）3月

札幌市

【市政等資料番号】

01-F08-25-2761

目次

1	意見募集の概要.....	1
2	意見の内訳.....	2
3	意見に基づく当初案からの変更点	3
4	意見の概要とそれに対する札幌市の考え方	5

1 意見募集の概要

(1) 意見募集の趣旨

札幌市では年々少子高齢化が進み、今後、団塊の世代をはじめとした多くの方が寿命を迎えると、火葬場の混雑や無縁墓の増加といった火葬場や墓地に関する問題が深刻になっていくことが懸念されます。

このことから、札幌市では火葬場や墓地に関する問題と、それらへの対応について長期的な方向性を示す「札幌市火葬場・墓地のあり方基本構想」（以下「基本構想」という。）を令和2年（2020年）3月に策定するとともに、その取組を具体化した「札幌市火葬場・墓地に関する運営計画」（以下「運営計画」という。）を令和4年（2022年）3月に策定し、各分野の取組を進めてきました。

このたび、運営計画の後続の計画として「第2次札幌市火葬場・墓地に関する運営計画（案）」（以下「第2次運営計画（案）」という。）に対する意見募集を実施しました。

(2) 意見募集期間

令和7年（2025年）12月22日（月）～令和8年（2026年）1月23日（金）

(3) 意見提出方法

郵送、持参、FAX、電子メール及びホームページ上の意見募集フォーム

(4) 第2次運営計画（案）の配布・閲覧場所

場所	本書	概要版
市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー	○	○
市役所本庁舎1階 パンフレットコーナー		○
ウェルネス推進部施設管理課	○	○
各区役所 市民部総務企画課広聴係	○	○
各まちづくりセンター		○
ふれあいパンフレットコーナー (地下鉄大通駅定期券発売所並び)		○

2 意見の内訳

(1) 提出者の年代別内訳

年代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
人数	0	0	1	0	1	4	0	6
件数	0	0	5	0	1	7	0	13

(2) 提出方法別内訳

提出方法	郵送	持参	FAX	電子メール	ホームページ	合計
提出件数	0	0	2	1	10	13

(3) 意見の内訳

分類	件数	構成比
全体について	3	23.1%
第1章 第2次運営計画の概要	0	0.0%
1 計画策定の目的・趣旨	0	0.0%
2 計画の位置付け	0	0.0%
3 計画の対象期間	0	0.0%
4 基本構想と運営計画について	0	0.0%
第2章 第1次計画の評価	0	0.0%
1 市民の意識醸成	0	0.0%
2 多死社会に対応した火葬場	0	0.0%
3 少子高齢社会に対応した墓地	0	0.0%
第3章 札幌市の葬送を取り巻く現状と問題点	5	38.5%
1 葬送に対する市民の意識	0	0.0%
2 火葬場	2	15.4%
3 墓地と納骨堂	3	23.1%
第4章 分野別の取組	4	30.8%
1 市民の意識醸成	0	0.0%
2 多死社会に対応した火葬場	2	15.4%
3 少子高齢社会に対応した墓地	2	15.4%
第5章 運営計画の進行管理等について	0	0.0%
1 推進体制	0	0.0%
2 進行管理と協議会の関わり方	0	0.0%
3 SDGs との関連	0	0.0%
第6章 資料	1	7.7%
合計	13	100.0%

※ 構成比の値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合があります。

3 意見に基づく当初案からの変更点

市民の皆様からいただいたご意見をもとに、当初案から5か所を修正いたしました。

No.	修正箇所の項目とページ	
	意見の概要	市の考え方
	修正点	
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3章札幌市の葬送を取り巻く現状と問題点 <ul style="list-style-type: none"> 2 火葬場 (1) 火葬件数の増加 (本書 16 ページ) 	
	火葬場の運用状況に関する記述について、予約可能時間と当日の受付時間の混同を避けるため、予約の締め切り時間の追記や、「受付」から「受け入れ」への表記変更など、利用者が誤解しないよう表現を工夫してはどうか。	「受付」を「火葬場の入場時間」に表現の修正をいたします。
	16 ページの「受付」を「火葬場の入場時間」に修正する。	
2	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3章札幌市の葬送を取り巻く現状と問題点 <ul style="list-style-type: none"> 2 火葬場 (4) 火葬場の広域利用 (本書 21 ページ) 	
	札幌市民以外の火葬件数に関する記述について、北広島市と石狩市の合算であるという実態を正確に伝えるため、「北広島市と石狩市で」などの表現を用いるなど、分かりやすい表現にしてはどうか。	「北広島市、石狩市は」を「北広島市と石狩市で」に表現の修正をいたします。
	21 ページの「北広島市、石狩市は」を「北広島市と石狩市で」に修正する。	

3	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3章札幌市の葬送を取り巻く現状と問題点 3 墓地と納骨堂 (1) 墓地・納骨堂の供給状況とニーズの変化 (本書 32 ページ) 	
	墓地の返還区画数だけでなく、概ね3年ごとに実施されている再公募の状況についても、その実績や推移が明確に伝わるよう、表などを用いて本計画に示してほしい。	再公募での使用許可数のグラフを掲載いたします。
	32 ページに再公募での使用許可数のグラフを掲載する。	
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 第3章札幌市の葬送を取り巻く現状と問題点 3 墓地と納骨堂 (2) 無縁化が疑われる墓の増加 (本書 33 ページ) 	
	市営霊園の管理料の徴収について、火葬料と同様に、本計画の中に具体的な金額を併記してほしい。	市営霊園の管理料について、年間 6,800 円であることを記載いたします。
	33 ページの「管理料」の後に「(年間 6,800 円)」を追記する。	
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 第6章資料 5 用語集 (本書 77 ページ) 	
	用語集の各用語の掲載ページ数が、すべて一致していない。	用語集の各用語の掲載ページと実際に掲載されているページが一致するよう修正いたします。
	77、78 ページの各用語の掲載ページ数を修正する。	

4 意見の概要とそれに対する札幌市の考え方

3に掲載した以外にいただいたご意見の概要と、札幌市の考え方は以下のとおりです。なお、趣旨が同様のご意見は、まとめて掲載しております。

第3章 札幌市の葬送を取り巻く現状と問題点 3 墓地と納骨堂

No.	意見の概要	市の考え方
1	民間墓地・納骨堂のトラブル再発防止に向け、新規・変更申請時の審査や定期監査の厳格化、刑事罰の導入などの罰則の強化、さらには一般公募による専門家の監査員への起用といった指導・監督体制を構築してほしい。	民間墓地・納骨堂の経営状況については、公認会計士等の専門家により構成される札幌市墓地等財務状況審議会の意見を聞き、厳格な審査を行うとともに、安定経営に不安がある事業者に対しては行政指導を行いながら、問題が解決しない事業者に対しては、法律・条例に基づき厳正に対処してまいります。

第4章 分野別の取組 2 多死社会に対応した火葬場

No.	意見の概要	市の考え方
2	斎場の改修費用を確保するため、市民・市外とも料金を引き上げてほしい。なお、市民については居住期間(20年以上など)に応じた段階的な料金設定を導入するなど、利用者負担のあり方を見直してほしい。	火葬場の使用料については、今後も適時適切な見直しを行ってまいります。
3	火葬場については、近隣の方々と十分な話し合いをして決めてほしい。	火葬場の整備については、引き続き近隣住民の方々との対話を丁寧に重ねながら検討を進めてまいります。

第4章分野別の取組 3 少子高齢社会に対応した墓地

No.	意見の概要	市の考え方
4	市営合葬墓を里塚霊園の塔の跡地周辺に整備し、あわせて休憩場所等を設置してほしい。	市営合葬墓についても、引き続き近隣住民の方々との対話を丁寧に重ねながら検討を進めてまいります。 また、空き区画等を活用した憩いの空間の創出や景観向上等についても検討してまいります。
5	外国人労働者の増加や「札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例」の理念、および国の動向を踏まえ、多文化共生の観点から宗教的慣習により土葬を必要とする市民への対応方針を検討し、本計画期間内に市営墓地での土葬区画の設置や民間との連携による体制整備に向けた調査・検討を行う旨を明記してほしい。	墓地行政の運営にあたっては、公衆衛生、市民感情などへの配慮が求められるものであり、今後も国の動向等を注視してまいります。

全体

No.	意見の概要	市の考え方
6	<p>高齢化や孤立死の増加、他都市における火葬料金の問題など葬儀を取り巻く課題が多様化する中、市民が十分に議論を深めることが、市民の選択肢を広げるとともに、運営にも納得できるように思う。</p>	<p>御指摘の通り、高齢化や孤立死の増加など社会環境が変化の中で、市民の皆様が葬送について考え、理解を深めていただくことが、尊厳ある葬送の実現や適切な施設運営に繋がるものと考えております。</p> <p>本計画では、葬送について考え行動する市民の意識を醸成することを基本目標の1つとしており、幅広い世代の方に関心を持っていただけるような内容の出前講座、ワークショップ、サロン等のイベントを企画・開催することとしております。また、市民委員も含まれる「札幌市火葬場・墓地のあり方推進協議会」でいただいた御意見を参考にしながら、適切に運営してまいります。</p>
7	<p>市民ニーズの多様化や環境意識の高まり、海外での普及状況を踏まえ、火葬に比べて環境負荷が低い「自然有機還元葬（堆肥葬）」について、国内・海外事例の調査や法制度上の課題整理、市民の意向把握など、将来的な導入に向けた調査・検討を本計画に盛り込んでほしい。</p>	<p>葬送については、各種法令への適合性はもとより、公衆衛生、市民の宗教的感情などに配慮しながら行われるものであります。</p> <p>これらを踏まえながら、最新の動向の把握に努めてまいります。</p>